

安倍9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名 各地でこんな取り組みが ⑥

2020年4月10日

安倍9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 ☎03-3221-4668

安倍9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名推進集中期間／4月2～12日

新型コロナウイルス禍のもと銀座で宣伝・署名 「コロナ対策に思い切った予算を！」の訴えに注目 総がかり行動・ウイメンズアクション

「コロナ対策に思い切った予算を！いのちを守れ！暮らしを守れ！」などの横断幕3枚を、横一列に並んだ女性たちが掲げ宣伝しました。買い物や仕事帰りの人びとの目を引くインパクトあるアクションとなりました。

いつもなら銀座（有楽町）イトシア前は四方八方から行き交う通行人で一杯になるところ、この日はコロナの影響か人出はパラパラ。

多彩な宣伝、寄せられた24の発議反対署名

9条壊すな！実行委員会・菱山南帆子さんの司会によるリレートーク、チラシを配る人、プラカードをもち訴える人、署名板をもって取り組む人など多彩な行動でにぎやかな宣伝でした。社会民主党、立憲民主党、日本共産党の国会議員さんも駆けつけ、訴えてくれました。

いつもより短い45分ほどの行動時間でしたが、寄せられた改憲発議反対署名は24でした。私は老若男女8人からいただきました。署名してくれる人は、年配者が多かったのが以前の傾向でしたが、最近は若者が目立って多くなり、今回もそうでした。

憲法でいのち・暮らし守ろう、政治を変えよう

署名した人が次つぎ語りました。「たったいま失業したばかり。小さな飲食店が閉店した。これから仕事を探すのは厳しい、ピンチだ」（30代半ば男性）と切実な声。20代女性は「安倍さんはヘンですよ」と最近各地で聞く声をこどもあげました。「早く辞めてもらいたい」「コロナに隠れて未解決問題が山積みじゃないか」と怒ります（50代男性）。まさに「いのちを守れ！暮らしを守れ！」です。

街に出て、コロナの被害の救済は憲法にもとづいて、憲法を生かして解決すること、まともに対処しない政治を変えようと市民に呼びかけることが大事であると実感し確信を深めた宣伝・署名行動となりました。（報告＝中尾こずえさん）



（写真＝菱山南帆子さん）

「発議反対署名、集めやすいよ」と6万8000人の署名 埼玉土建

埼玉土建労組の仲間たちはこれまでに「安倍9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名」6万7600人分を集めています。目標は33万5000人。

一人で100署名を集めた人が85人、50署名を集めた人が62人に達しています。埼玉土建越谷支部が目標の59%、同吉川松伏支部は43%に到達し勢いをつけています。

出足早く取り組んでいる支部や組合員からは、「3000万人署名をしてくれた人に、『発議反対の署名だ』とお願いするのだから、簡単に応えてくれるし、取り組みやすい」との感想が寄せられています。

埼玉土建労組は署名運動の牽引車の役割を発揮しています。

(埼玉憲法会議活動ニュース2020年4月10日付から)

「自粛と補償は一体で」「いのち・暮らし守れ」憲法共同センター「9の日」宣伝①

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター（憲法共同センター）は4月9日、東京はじめ全国各地で「9の日」宣伝行動を取り組み、安倍9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名への協力を訴えました。

昼休みの御茶ノ水駅前では、小田川義和全労連議長、長尾ゆり全労連副議長、吉田健一自由法曹団団長らが先頭にたち宣伝しました。

宣伝では、発議反対緊急署名を呼びかけるとともに、「コロナ対策を最優先に、いのち・暮らし・安全・雇用を守るのが政治の役割、憲法25条が生きる社会の実現を」、「自粛と補償は一体でおこなうこと、補償がなければ安心して自粛できない」、「所得補償は世界の流れ、108兆円というのが実際の額は極めて少ない、他国に習いまずは一律10万円の補償を」などと訴えました。

(憲法共同センターNEWS316号2020年4月9日付から)

「今、助成金が必要」「政党助成金をコロナ対策に」の声「9の日」宣伝②

代々木駅前では4月9日昼、憲法会議、婦人民主クラブ、民青同盟から7人が参加し、全国市民アクションの横断幕などを掲げ、宣伝・署名行動を取り組みました。

昼休みなのに人通りが少ないなか、飛び込みでチラシ配布に協力してくれた青年もいました。寄せられた署名は4人分でしたが、対話が進みました。

学生との間で、「9条って何？」という逆質問やコロナ感染で生活が大変になっているニュースについて対話になりました。

「うまく助成金が得られることになっても実際に支給されるのは今ではなく、先になるのでしょう」、「政党助成金に使っている金を吐き出したらどうか」などの声が寄せられました。

(憲法共同センターNEWS317号2020年4月9日付から)

東京都 14人の緊急署名 商店街で行動 安倍改憲NO！文京アクション

安倍改憲NO！文京アクションは3月17日、文京区白山通り商店街交差点で署名・宣伝行動を取り組みました。行動には6人が参加、30分の行動でしたが、一人が12人の署名を集めたものを含め14人分の署名が寄せられました。

同アクションは、2月27日に予定していた緊急署名スタート集会を新型コロナウイルス感染防止で中止しましたが、街頭署名などはとりあえず進めようと行動しているものです。同アクションは3月末で1380人の緊急署名を集約しています。

次回は全国市民アクションの提起に呼応し、4月11日昼、本郷三丁目交差点で行

動する予定です。

(東京憲法共同センター「憲法ニュース」475号2020年4月2日付から)

大阪府 26の駅頭宣伝に443人が参加、417の署名 堺市

堺市の憲法共同センターは3月20日、全駅宣伝・署名行動を取り組みました。26駅前で実施しました(全27駅中)。

コロナのなかであり、「行動への自由参加」を提起しましたが、合計443人が参加しました。「対面署名は大丈夫か？」の不安もありましたが実施したところ、寄せられた署名は417人となりました。配布したチラシは約3000枚でした。

このうち、正午から中百舌鳥(なかもず)駅前の市民と野党の共同宣伝には140人が参加しました。

(大阪憲法会議・共同センター 大阪憲法しんぶん速報版「平和 憲法九条」542号2020年3月30日付および同541号3月24日付から)

東京都 4・2 新宿駅西口での宣伝行動から〔続報〕 全国市民アクション

全国市民アクションが4月2日、「集中期間」初日に新宿駅西口で取り組んだ署名・宣伝行動(既報)の写真を掲載します。(提供は菱山南帆子さん)

